

第2回短寿命 RI 利用研究シンポジウム <日程>

(2024.11.26 時点)

日時:2024 年 12 月 13 日(金)~14 日(土)

会場:グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC 8F(C01-02)

1日目 12月13日(金) *印以外は日本語でのセッションです。発表順は前後する場合がございます。

時間	セッション	● ..講演者
11:00 - 13:00	受付	
13:00 - 13:10	開会の挨拶	中野 貴志(大阪大学)
13:10 - 13:50	基調講演	座長:中野 貴志(大阪大学) ● 上坂 充 (原子力委員会 委員長)
14:00 - 15:00	RI セッション 1	座長:神田 浩樹(大阪大学)/瀬川 麻里子(JAEA) ● 渡部 浩司(東北大学) ● 片岡 淳 (早稲田大学)
15:10 - 16:40	核医学セッション 1* (英語セッション・同時通訳有)	座長:佐藤 葉子(藤田医科大学)/渡部 直史(大阪大学) ● Jeremie Calais (UCLA)*Online ● 若林 大志(金沢大学) ● Frederik.L.Giesel (University Hospital Dusseldorf)
16:40 - 16:45	JSPS 研究拠点形成事業紹介	渡部 直史(大阪大学)
16:45 - 18:00	写真撮影	
	ポスターセッション	
18:30 - 20:30	意見交換会 グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーB 10F(B06-07)	

2日目 12月14日(土) *印以外は日本語でのセッションです。発表順は前後する場合がございます。

時間	セッション	● ..講演者
09:10 - 10:10	企業セッション 1 (同時通訳有)	座長:小川 美香子(北海道大学)/白神 宜史(大阪大学) ● 波多野 正(日本メジフィジックス株式会社) ● 村上 雅人(PDR ファーマ株式会社)
10:20 - 11:50	核医学セッション 2* (英語セッション・同時通訳有)	座長:兼田 加珠子(大阪大学)/樺山 一哉(大阪大学) ● 志賀 哲(福島県立医科大学)*Online ● Thomas Hope (UCSF) ● 深瀬 浩一(大阪大学)
11:50 - 13:20	昼休み	
13:20 - 14:10	企業セッション 2 (同時通訳有)	座長:北岡 麻美(日本アイソトープ協会)/ 鷲山 幸信(福島県立医科大学) ● 戸村 裕一(アルファフュージョン株式会社) ● 滝 和也(住友重機械工業株式会社)
14:30 - 15:30	RI セッション 2	座長:石岡 典子(QST)/羽場 宏光(理化学研究所) ● 古川 純 (筑波大学) ● 大平 慎一(熊本大学)
15:30 - 15:40	Industry introduction	● Milton Lönnroth (Atley Solutions AB CEO)
15:40 - 15:50	閉会の挨拶	大西 宏明(東北大学)

<プログラム1日目 12月13日(金)> (2024.11.26時点)

開会の挨拶 (13:00-13:10)

◆ 大阪大学 核物理研究センター長 中野 貴志

基調講演 (日本語) (13:10-13:50)

座長: 中野 貴志(大阪大学)

● 原子力委員会 委員長 上坂 充

「医療用ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプランとフォローアップ」

RI セッション1 (日本語セッション) (14:00-15:00)

座長: 神田 浩樹(大阪大学) / 瀬川 麻里子(JAEA)

● 渡部 浩司(東北大学): 「RI 利用展開のための放射線管理について」

● 片岡 淳(早稲田大学): 「薬物動態可視化へむけた X 線ガンマ線イメージングの展開」

核医学セッション1 (英語セッション・同時通訳有 ENG→JP) (15:10-16:40)

座長: 佐藤 葉子(藤田医科大学) / 渡部 直史(大阪大学)

● Jeremie Calais(UCLA)*Online:

「The Current State of Theranostics focusing on CA-IX and PSMA」

● 若林 大志(金沢大学):

「Current Status of I-131-MIBG Therapy in Japan: A Focus on Neuroblastoma Treatment」

● Frederik.L.Giesel((University Hospital Dusseldorf): 「The New Era of Targeted Alpha Therapy in Clinical Translation」

JSPS 研究拠点形成事業紹介 (日本語) (16:40-16:45)

● 渡部 直史(大阪大学)

「新規セラノスティクス標的開発のための国際拠点ネットワークの充実化」

ポスターセッション (日本語) (16:45-18:00)

意見交換会 (18:30-20:30)

会場: グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーB 10F (B06-07)

<プログラム2日目 12月14日(土)> (2024.11.26 時点)

企業セッション1 (日本語セッション・同時通訳有 JP→ENG) (9:10-10:10)

座長:小川 美香子(北海道大学)/ 白神 宜史(大阪大学)

- **波多野 正(日本メジフィジックス株式会社 研究開発本部長):**
「Realization of Precision Medicine by “ α STARTZ” drug discovery platform for cancer treatment」
- **村上 雅人(PDR ファーマ株式会社 代表取締役):**
「Theranostics pipeline discovery and revolutionary development strategy of PeptiDream/PDRRadiopharma/
ペプチドリーム・PDR ファーマにおけるセラノスティクス標的探索とその革新的開発戦略」

核医学セッション2 (英語セッション・同時通訳有 ENG→JP) (10:20-11:50)

座長:兼田 加珠子(大阪大学) / 樺山 一哉(大阪大学)

- **志賀 哲(福島県立医科大学)*Online:**
「Development of At-211 Labeled Radiopharmaceuticals at Fukushima Medical University」
- **Thomas Hope(UCSF):**「Theranostics: is it better to predict or respond?」
- **深瀬 浩一(大阪大学):**「アスタチンの製造～標識、阪大での開発状況と医師主導治験～」

企業セッション2 (日本語セッション・同時通訳有 JP→ENG) (13:20-14:10)

座長:北岡 麻美(日本アイソトープ協会) / 鷲山 幸信(福島県立医科大学)

- **戸村 裕一(アルファフュージョン株式会社 研究開発部門長):**
「At-211 によって広がる TAT の可能性」
- **滝 和也(住友重機械工業株式会社 産業機器事業部):**
「アスタチン創薬活性化に対する住友重機械工業の取り組み」

RI セッション2 (日本語セッション) (14:30-15:30)

座長:石岡 典子(QST) / 羽場 宏光(理化学研究所)

- **古川 純(筑波大学):**「植物科学における放射性カリウムを用いた研究の広がりとその重要性」
- **大平 慎一(熊本大学):**「3Dプリンタデバイスによる短寿命放射性同位体のインライン精製」

Industry introduction (英語) (15:30-15:40)

- **Milton Lönnroth (Atley Solutions AB CEO):**「Introduction of Atley C100」

閉会の挨拶 (15:40-15:50)

- ◆ **東北大学 先端量子ビーム科学研究センター長 大西 宏明**